

# アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド (円コース) <年2回決算型>

追加型投信／海外／債券

## 第21期

(償還日 2026年4月8日)

作成対象期間 (2025年10月9日～2026年4月8日)

第21期末 (2026年4月8日)	
償還価額	11,285円41銭
純資産総額	20百万円
第21期	
騰落率	△1.3%
分配金 (税込み)	0円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、2026年4月8日に信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

当ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／円買いの為替取引 (対円での「為替ヘッジ」) を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH9シェアクラス、円)」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「C A マネープールファンド (適格機関投資家専用)」への投資も行います。対円での為替ヘッジを行います。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

### <お問い合わせ先>

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

### 【閲覧方法】

- 右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「償還ファンド一覧」をクリック⇒当該一覧から当ファンドの運用報告書 (全体版) をクリック

- 運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

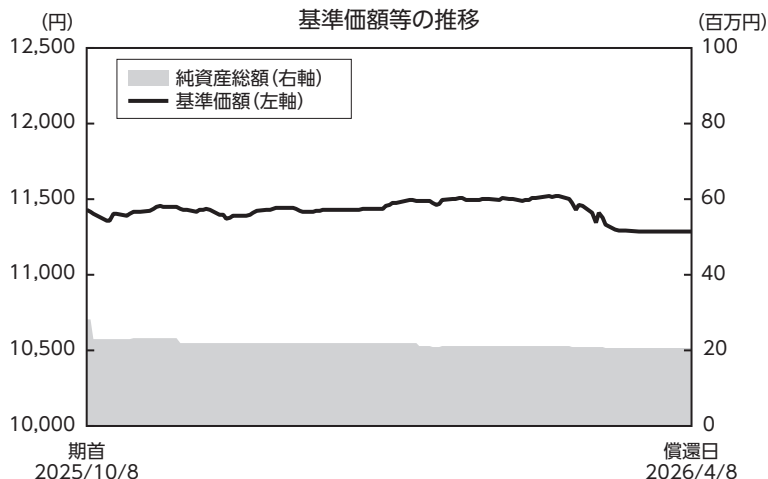
< 5423891・5481546 >

## 運用経過

### 基準価額等の推移

第21期首	11,431円
第21期末 (償還日)	11,285円41銭
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△1.3%

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



### 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、前期末比で下落しました。

#### 上昇要因

- ・ キャリー収益がパフォーマンスを後押ししたほか、4月以降クレジットスプレッド（国債との利回り格差）が縮小する局面でB B格債の堅調さがプラスに働いたこと

#### 下落要因

- ・ 3月、ブレント原油価格の急騰、ドイツ国債利回りの上昇（債券価格は下落）、クレジットスプレッドの拡大などを受けて、欧州ハイイールド債市場が弱含んだこと。
- ・ ユーロ売り/円買いの為替ヘッジ取引にともなうヘッジコスト（日欧短期金利差相当分の費用）を支払ったこと

## 1 万口当たりの費用明細

項 目	第21期 (2025年10月9日 ～2026年4月8日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	63円 (18) (44)  ( 2)	0.554% (0.154) (0.384)  (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (印刷費用)	12 (12)	0.103 (0.103)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	75	0.657	

期中の平均基準価額は11,434円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

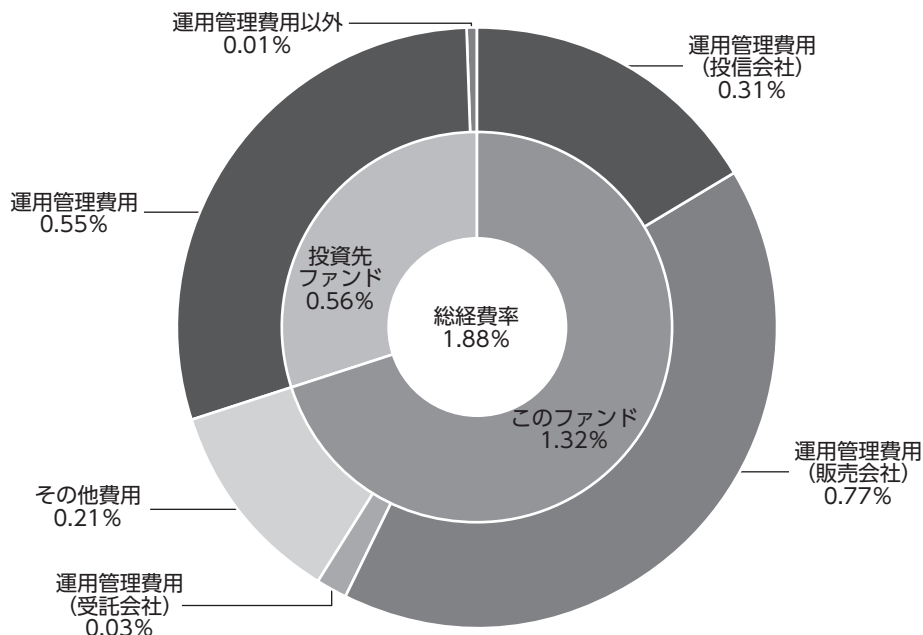
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①このファンドの費用の比率	1.32%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.55%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

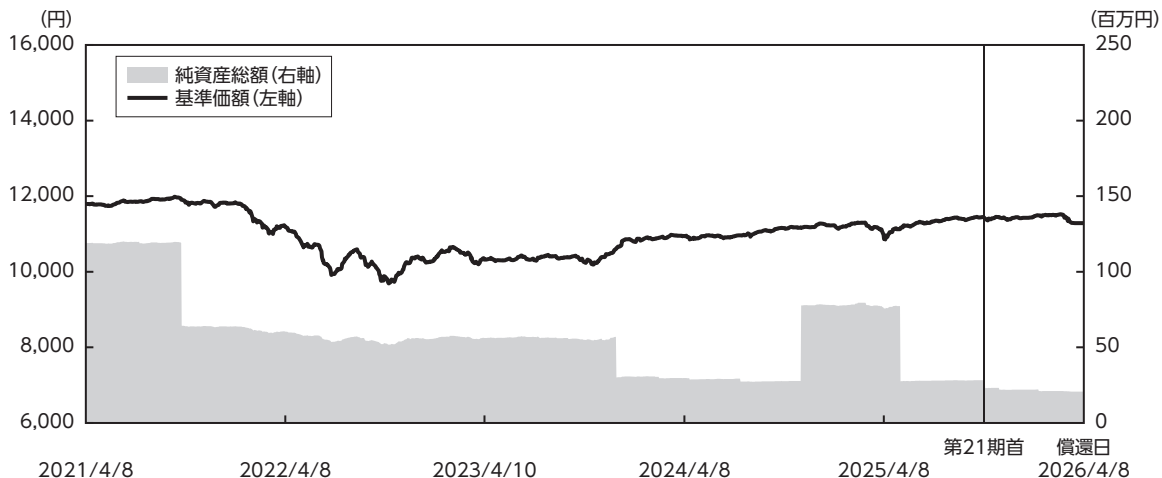
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2021年4月8日～2026年4月8日)



## 最近5年間の年間騰落率

	2021/4/8 期首	2022/4/8 決算日	2023/4/10 決算日	2024/4/8 決算日	2025/4/8 決算日	2026/4/8 償還日
基準価額 (円)	11,785	11,178	10,321	10,943	10,863	11,285.41
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	-5.2	-7.7	6.0	-0.7	3.9
純資産総額 (百万円)	118	60	56	29	75	20

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

## 投資環境

### <欧州ハイイールド債券市場>

欧州ハイイールド債市場は、当期前半はユーロ圏および米国の景気指標が堅調で、インフレ鈍化を背景にキャリー主導で底堅く推移しました。B B格債の堅調さや資金流入、新規発行の活発さが支えとなりました。2026年3月に入ると、中東情勢の緊迫化による原油高を受けてインフレ懸念と景気減速懸念が強まり、欧州ハイイールド債市場は下落しました。ドイツ国債利回りの上昇（債券価格は下落）と、クレジットスプレッド（国債との利回り格差）の拡大を背景に市場環境は急速に悪化し、リスク資産全般に逆風が広がりました。

### <日本の短期国債市場>

当期の短期国債市場では、T D B（国庫短期証券）3ヵ月物利回りが上昇しました。2025年12月に日銀が追加利上げにより政策金利を0.75%へと引き上げたことに加え、さらなる利上げ期待も継続しました。これにより、0.40%台で推移していたT D B 3ヵ月物利回りは、当期末にかけて0.80%近辺まで上昇しました。

## ポートフォリオ

### <当ファンド>

当ファンドは、主として欧州のハイイールド債に投資しユーロの為替リスクを対円でヘッジした投資信託証券「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH9シェアクラス、円)」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当該投資信託証券への投資比率は高位を維持しました。また、円建の国内籍投資信託「C Aマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。なお、償還に向けて、2026年3月にストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH9シェアクラス、円) およびC Aマネープールファンド（適格機関投資家専用）を全て売却しました。以降は解約金、償還金の支払いに備えコールローン等の短期金融資産を中心とした安定運用に切り替えました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### <ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH9シェアクラス、円)>

当ファンドは、6ヵ月間を通じて新発債へ積極的に参加し、機動的にセクター・ローテーションを行い、慎重なクレジット選別を軸に選別的な運用を継続しました。懸念のある発行体を回避しつつ、金融機関の劣後債や高格付銘柄を選好したほか、複数の新発債にも参加しました。結果として、規律あるポジショニングと信用力の高い銘柄の選好がパフォーマンスを下支えしました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／円買いの為替ヘッジを行い、当期を通じておおむねフルヘッジを維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### <CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える短期国債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

### ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

### 分配金

当期は最終期のため、分配は行いませんでした。

満期償還にあたり、受益者のみなさまのご愛顧に対し心からお礼申し上げます。

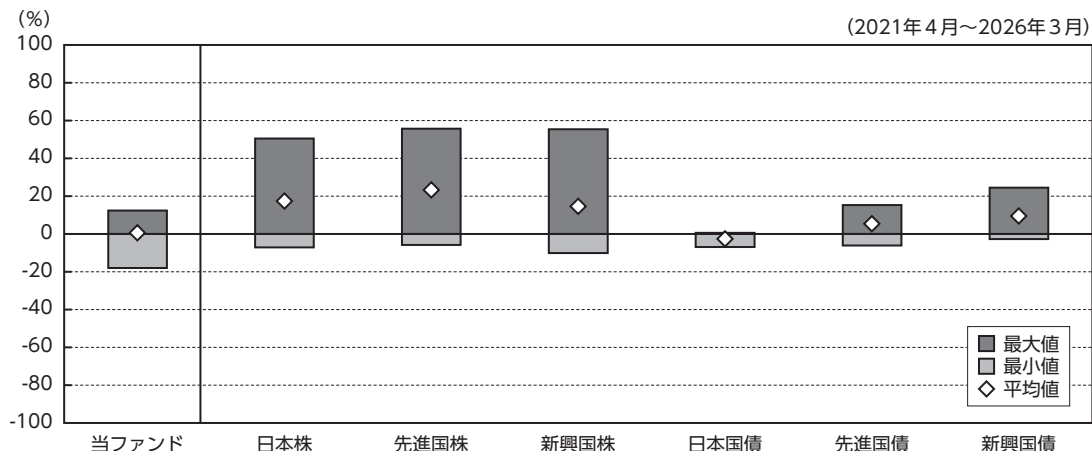
## お知らせ

- ・ 一般社団法人投資信託協会が一般社団法人資産運用業協会に名称を変更したことにともない、2026年4月1日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

## ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2016年1月14日から2026年4月8日までです。	
運用方針	欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／円買いの為替取引（対円での「為替ヘッジ」）を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH9シェアクラス、円）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。対円での為替ヘッジを行います。	
主要投資対象	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）＜年2回決算型＞	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH9シェアクラス、円） CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）
	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH9シェアクラス、円）	欧州のハイイールド債
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
運用方法	<p>①欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／円買いの為替取引（対円での「為替ヘッジ」）を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH9シェアクラス、円）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>②「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH9シェアクラス、円）」への投資比率は、原則として投資信託財産の純資産総額の90%以上とすることを基本とします。</p> <p>③対円での為替ヘッジを行います。</p>	
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年4月および10月の各8日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売益益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

## 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



### 当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.6	17.4	23.3	14.6	-2.6	5.4	9.5
最大値	12.4	50.5	55.7	55.4	0.6	15.3	24.5
最小値	-18.0	-7.1	-5.8	-10.1	-6.9	-6.1	-2.7

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2021年4月から2026年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### 組入ファンド

償還日現在、有価証券の組入はありません。

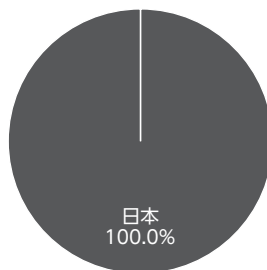
2026年4月8日現在

#### 種別構成

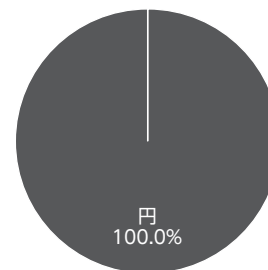
##### 資産別配分



##### 国別配分



##### 通貨別配分



(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 純資産等

項目	償還時 2026年4月8日
純資産総額	20,715,595円
受益権総口数	18,356,085口
1万口当たり償還価額	11,285円41銭

※当期間（第21期）中における追加設定元本額は8,066円、同解約元本額は6,354,263円です。

## 指数に関して

### ◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

#### ●MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### ●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

#### ●NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「NFRFC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRFCに帰属します。

#### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

**Amundi**  
Investment Solutions



**Trust must be earned**